



はぎわら まさお
穂原 政夫 議員
(政友みらい)



健康寿命の延伸について

Q 健康寿命の延伸を図るため、さらに力を注ぐ取り組みや、新たな取り組みについて伺いたい。

A 健康医療部長

健康寿命の延伸を図るための新たな取り組みとして、佐野市健康長寿推進条例を2月定例会に上程しているところです。この条例は、生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができる健康長寿の実現に寄与するために制定するもので、目的、基本理念、関係機関の役割、展開する施策等を明文化したものです。

今後、この健康長寿推進条例の基本理念に基づき、健康づくりの主体である市民の皆様と地域一丸となった施策を展開することで、健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図っていきたくと考えています。

その他の質問
☆ごみ処理について
☆鳥インフルエンザについて



かねこ やすとし
金子 保利 議員
(志翔会)



「広報さの」の在り方について

Q 広報は住民が主役であり、全世帯に情報が届いて初めて「広報さの」が生きることとなる。本市の広報広聴事務規則の第3条第3項に、「広報さの」の配布は、次に掲げるものを対象とし、無料で行うとあり、第1号に、市の区域内の全ての世帯とある。これを市の区域内の全ての世帯に無料で配布すると解釈するが、当局の見解を聞きたい。

A 総合政策部長

議員ご指摘のとおり、広報広聴事務規則には、「市の区域内の全ての世帯」と書いてあります。その理念について、市でもその実現に努めていきたいと考えています。

一方で、社会としてはデジタル化も進んでいるため、市の必要な情報については、迅速かつ適切に、広報紙を始め、いろいろな手段をもって市民に伝達するということを念頭に置いて取り組んでいきたいと考えています。



くぼ たかひろ
久保 貴洋 議員
(蒼生会(現・大樹会))



閉校となった学校跡地の活用について

Q 旧閑馬小学校の学校跡地の活用について、特定された事業者名と提案内容を伺いたい。

A 総合政策部長

旧閑馬小学校校活用事業者に特定されたのは、東京都武蔵野市のN CORE株式会社で、体育館及び校舎の一部は植物栽培工場として活用し、グラウンドではドローン教習所及びグランピング施設の運営が提案されました。また、周辺の休耕田を活用したバイオジェット燃料のもととなる植物栽培も計画されていて、それらの事業展開に伴う雇用計画についても提案がありました。そのほかに校舎の一部への地域コミュニティスペースの設置や、事業未使用時のグラウンドの無償開放、防災行政無線の継続使用に関する協力など、地域貢献に関する内容がありました。

その他の質問
☆本市のスポーツ行政について
☆高病原性鳥インフルエンザについて



▲旧閑馬小学校